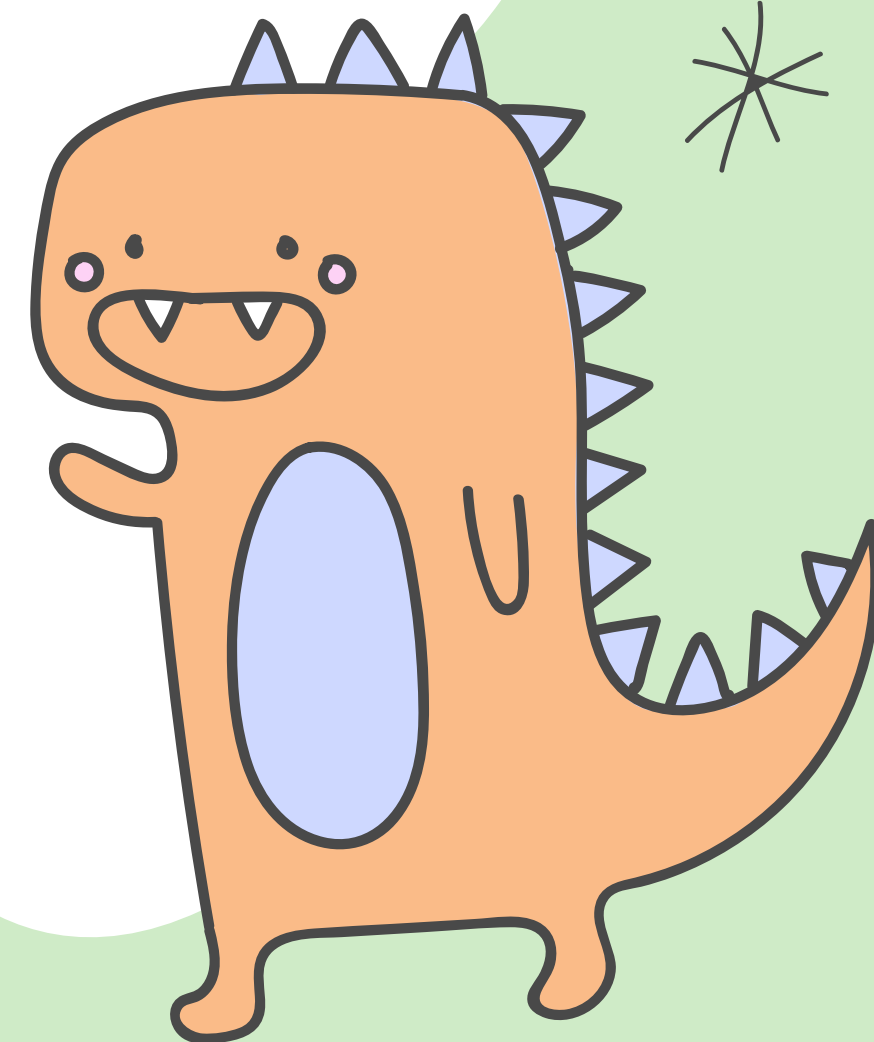
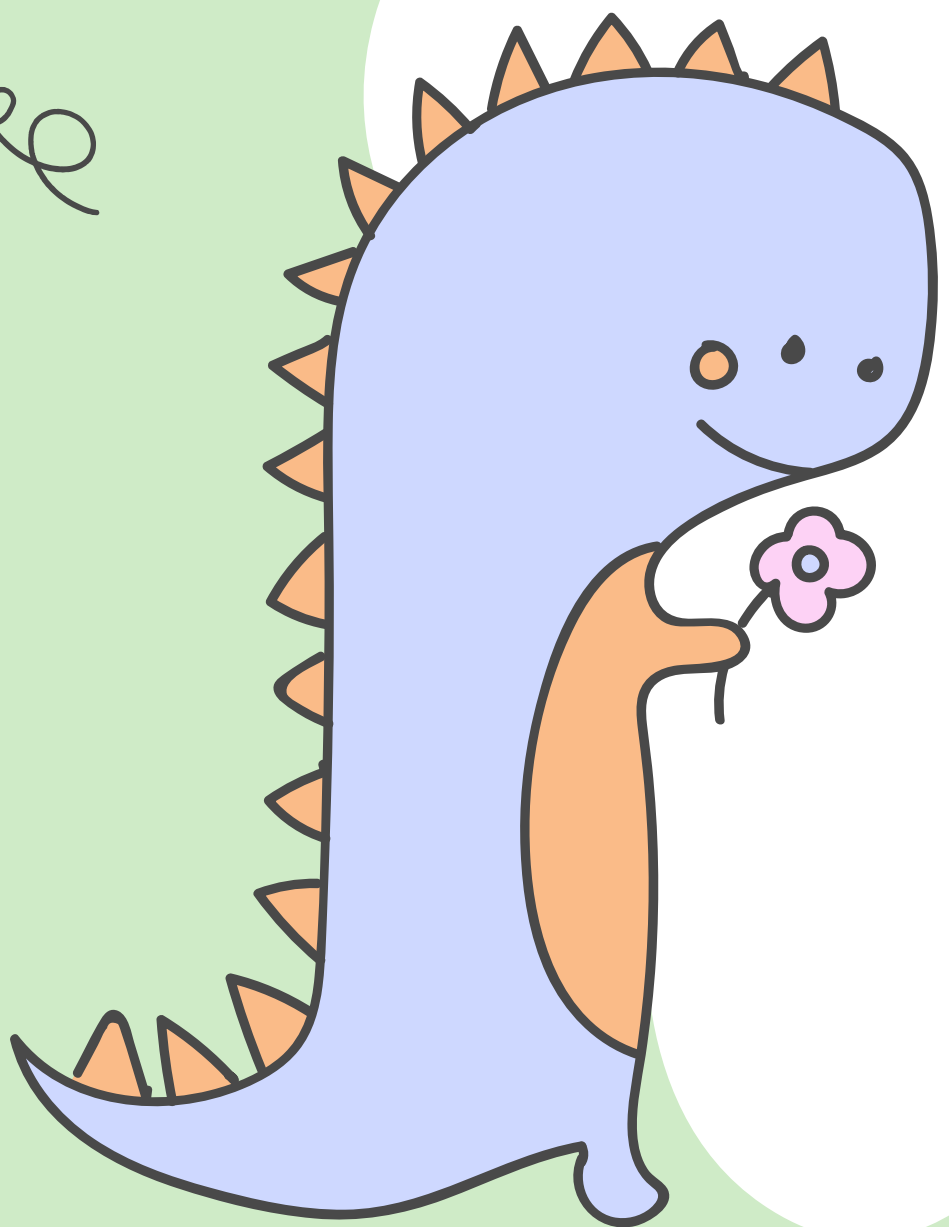
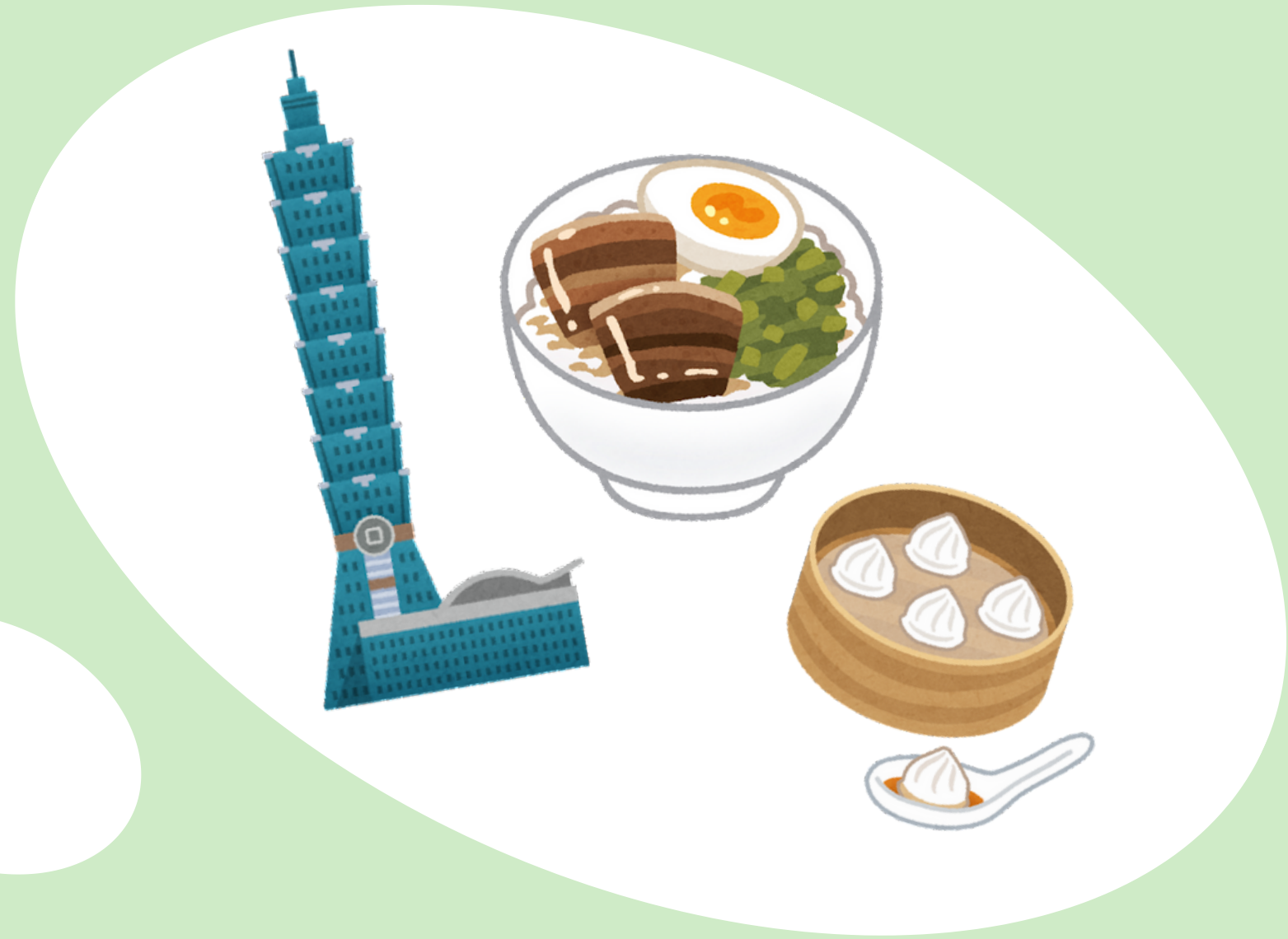
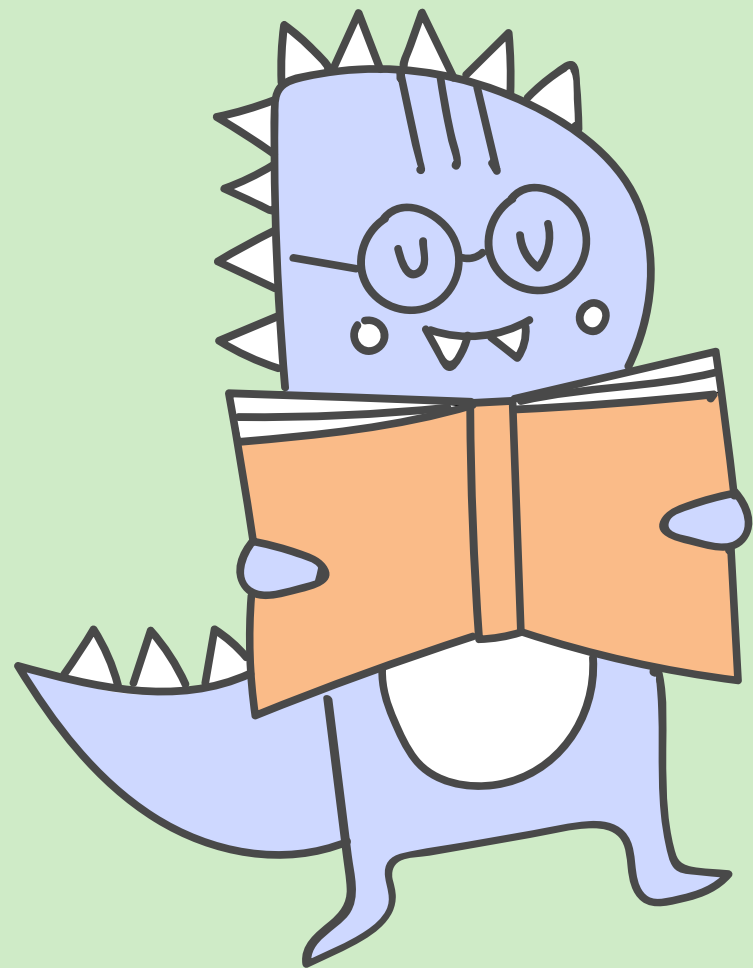


オススメの  
ミステリー小説!

中山志乃



現在台湾にオンライン留学中…



紀蔚然著

船山むつみ訳



私家偵探

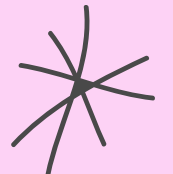
PRIVATE EYES

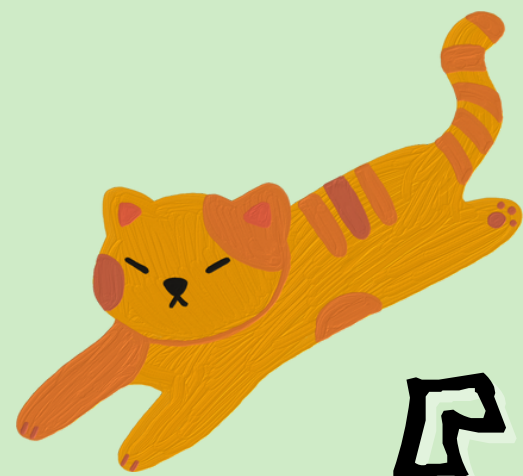


『このミステリーが  
 すごい!』大賞  
 を知っていますか？



毎年年末になると右の写真の  
 ような雑誌が発売され、  
 そこで1年間のベストミステリーが  
 発表される!





『このミステリーが』  
いい! 四大賞2022  
の海外部門で第5位  
に輝いた!



# Story

ウーチェン

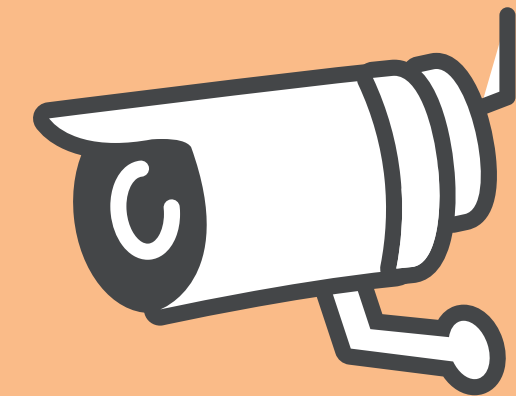
大学で演劇学などを教える傍ら、名の知れた劇作家でもあった呉誠  
(50歳男性)は妻に捨てられ、自身の酒癖によって仕事仲間とも気まず  
い仲に…。

そんな呉誠はある日教職を捨てて演劇界と縁を切り、**私立探偵に転身**  
する!

それと同時に**台北の街で起こる連続殺人事件**。  
初めての依頼で探偵業に勤しみニューライフを送る呉誠だが、いつの間  
にか**連続殺人事件に巻き込まれていってしまう…!**



# 『台北プレイバートアイ』の魅力

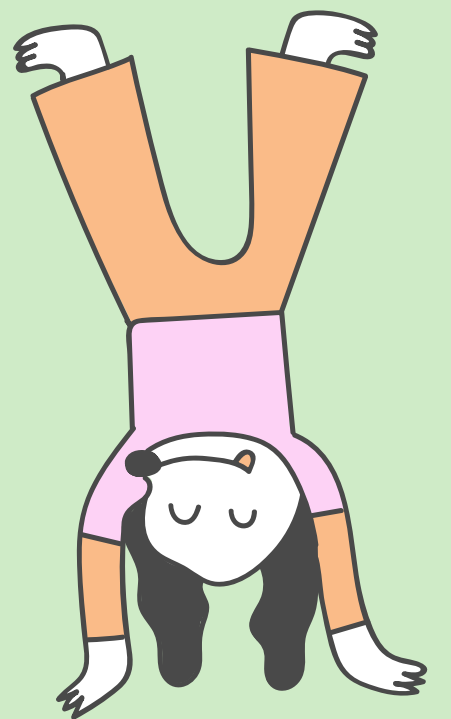
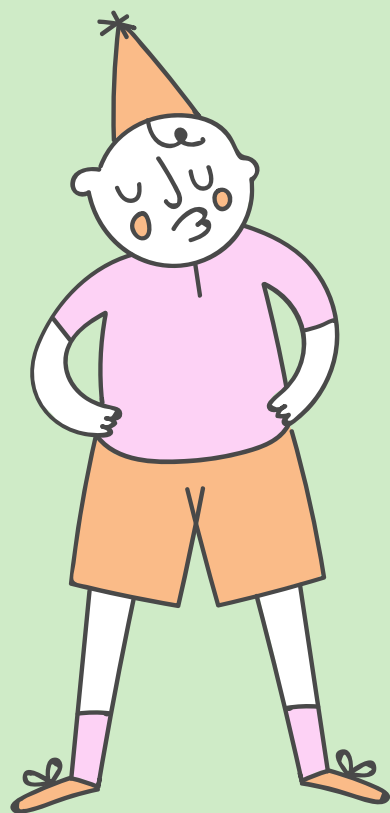


- 1 抜群のユーモアセンス
- 2 台湾語もよく登場し、台北の雰囲気味が味おえる
- 3 現代技術をいかに突破し、いかに駆使するか
- 4 主人公の鋭い観察眼



# 主人公の鋭い観察眼

日本人は極致を追い求めるあまり、病的になりがちだ。  
そのうえ、彼らの追い求める極致とは、「完全無欠」のことではなく、西洋人の言うところの「十点満点」のことでもない。欠けているところがあってこそ、美しいのだ。  
このような概念は彼らの魂に染みついており、文学、芸術、音楽、服飾、立ち居振る舞いの至るところにその痕跡を見てとることができる。(p.176)





おまけ



# おすすめの本屋 「誠品生活日本橋」

台湾の大型書店チェーン、日本1号点。

日本橋室町の「コレド室町テラス」内にあります。

台湾関連書籍や中文書も取り扱っている、高級感のある書店！

終わりで"す!  
是非読んで"みてくだ  
さい!

